

# OLC オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を期に

オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

※法人設立準備中

## 目次

### 挨拶

オアシスライフ・ケアの松田牧人代表（オアシスチャペル利府キリスト教会・牧師）からの挨拶です。

ページ 1

### 活動報告

私たちがこれまでに行ってきた様々な活動を紹介します。

ページ 2-3



### 会計報告

2011年3月11日から10月20日までの会計報告です。

ページ 4



## 挨拶

# 鷺のように 翼を広げ

寒い冬が目の前に迫っています。壁の薄い仮設住宅で暖房費を節約しながら過ごす東北の冬はどれほど寒いことか…。考えるだけで胸が痛みます。被災者の方々が少しでもあたたかいクリスマスを迎えることができるよう、既に石油ファンヒーター、冬物衣料などをお届けしていますが、さらに“お財布”を少しでもあたたかくしていただくべく内職支援プロジェクトも着々と進行中です。そして何よりも、2000年前のクリスマスの出来事を通して現された神様の愛を心にお届けするため、様々な企画を準備中です。

話は変わりますが、支援活動を初めて3ヶ月ほどした頃、南三陸町の「町の鳥」に指定されているのが「イヌワシ」であることを知りました。そ



苦難の日にはわたしを呼び求めよ。わたしはあなたを助け出そう。あなたはわたしをあがめよう。

詩篇 50篇15節

のことを聞いた時、私たちオアシスライフ・ケアのスタッフたちの心に浮かんだのは次の聖書のことばでした。

「若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。しかし、主（神）を待ち望む者は新しく力を得、鷺のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。」

（旧約聖書・イザヤ書 40:30-31）

神様に期待し、希望を抱いてベストを尽くし続け、神様が豊かに働いてくださることを待ち望む人は、困難の中にあっても鷺のように力を得て天高く舞うことができると信じます。今月末から始まるアドベント（待降節）は、救い主の到来一クリスマスーを期待して待ち望む期間です。被災地にも神様からの力が到来するよう待ち望みながら、働きを続けていきます。

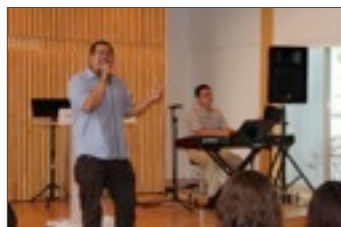
オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人



### 「あの時の体験」を伝えながら



ゴスペルシンガーのKEN MATSUDA（オアシスライフ・ケアのスタッフ）は、これまで宮城県の被災各地で開かれたコンサートや全国で開催されるチャリティコンサートに出演してきました。東北地方以外で歌う際、自分自身も被災したKEN MATSUDAは、全国の方々に震災のことを覚え続けてもらうために被災体験を分かち合ってきました。震災に遭った際、奥様は出産を目前に控えている状態で、お腹の中には赤ちゃんがいました。震災当日の夜は強い余震が続き、雪も降る寒い中、車の中で一夜を明かしました。地震のショックからか、奥様はお腹の赤ちゃんが動いていない気がすると言って夜通し泣いていました。その後、無事に出産をすることができましたが、その体験は一生忘れられないものになりました。自身が被災したからこそ伝えられることがある…。KEN MATSUDAはこれからも被災地や全国の教会、学校、ライブハウスなどで歌い続けます。



### 「あったかい」を届ける働き



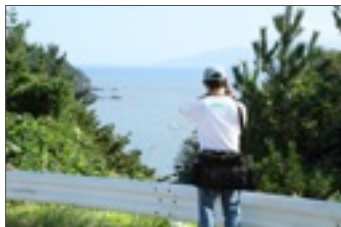
大震災が起きてから応急的に建設された仮設住宅。東北の寒い冬を乗り切るための設備や暖房器具は十分に備えられておらず、冬が近づくにつれて防寒対策の必要性が叫ばれていました。付帯設備のエアコンは光熱費がかかるために利用しにくく、かと言って定期的な収入を失った人たちは新しい暖房器具を購入するのにもためらっている状況でした。冬の到来を前にした緊急のニーズに応えるため、オアシスライフ・ケアは日本キャンパス・クルセード・フォー・クライストの援助を受け、石巻市牡鹿半島・寄磯地区にある仮設住宅の方々に全世帯数分のストーブと冬物衣類などをお届けしました。また、一般社団法人海友支援隊の協力により、ポリタンクに灯油を満タンに入れてお届けすることもできました。今回の支援には、サドルバックチャーチ（米国・カリフォルニア州）から派遣されたボランティアチームが帯同し、配布をお手伝いしていただきました。



## 「海友支援隊」のドキュメンタリーを制作



宮城県石巻市では、震災前まで全国シェアの8割を占める「ホヤ」が養殖されていました。しかし、津波によって養殖イカダが全部流され、海産物の加工場も全壊してしまいました。養殖業の継続が不可能になる壊滅的な被害…。そんな危機から抜け出すために、一般社団法人 海友支援隊さんは養殖復興プロジェクトを立ち上げました。オアシスライフ・ケアは、これまで海友支援隊さんの働きをサポートさせていただき、時には漁師さんたちが暮らす避難所や仮設住宅を一緒に訪れ、炊き出しや支援物資の配給などを行ってきました。海友支援隊さんは、漁船や冷蔵・冷凍加工場、製氷工場などの施設を再建し、ホヤの養殖事業を復興させることを目的とした支援基金を設立して、支援金を集めています。オアシスライフ・ケアでは、そんな海友支援隊さんの貴重な働きを手助けするために、活動PR用のドキュメンタリーを制作することになりました。制作には、韓国人で映像作家であるキム・セジュンさんに協力を依頼しています。セジュンさんは海友支援隊さんの活動に帯同して、現地に泊まり込みながら三日間の取材を敢行してくれました。再び石巻産のホヤを水揚げする日を夢見て、今後も海友支援隊さんを応援していきます。



## 内職支援プロジェクトが本格始動！



オアシスライフ・ケアが内職の支援を検討し始めたのは6月半ばのことです。4か月間、他の支援活動と並行して地道な準備を重ねて来ました(体験教室に通ったり、参考本を片手に試作したりなど)。実際に取りかかってみると、コストの問題、作業スペースの問題、難易度の問題など、一筋縄にはいかない現実と直面して来ました。試行錯誤の末、ようやくたどり着いたのが「革細工」です。単に革製品を作ることのみならず、共に作業することを通してコミュニティを作ることを目指しています(オアシスライフ・ケアのミッションは、人々の心と人生に「あなたはひとりじゃない」というメッセージを届けることです)。具体的には、制作ボランティアを積極的に募り、被災地の製作者の方々との定期交流会(制作会)なども検討しています。

先だって、南三陸町の方々に内職支援について説明させていただきました。支援する側、支援される側という垣根無しに、「仲間」として一緒にプロジェクトを創り上げていくことへの賛同もいただきました。皆さまからのご支援によるこれまでの活動を通して培われてきた信頼関係があったゆえだとも思います。いよいよプロジェクトが本格的に始動します。引き続きの応援をお願いいたします。



# 会計報告とご協力のお願い

オアシスライフ・ケアの働きは、多くの方々のご支援、ご協力によって成り立っています。これまでに約1,000万円のご支援をいただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。私たちは、最低でも5年間この働きを継続していきたいと考えています。今後も長く、効果的に働きを続けていくために、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

## 2011年3月11日～10月20日までの収支報告

	合計金額	科目
収入	¥ 10,069,937	献金、支援金
支出	¥ 7,515,184	被災地に届ける物資、機材・備品、ガソリン代、スタッフ人件費 他
残高	¥ 2,554,753	今後の働きのために繰り越し

上記の通り報告いたします。

2011年10月25日

## 支援金窓口

### 【三菱東京UFJ銀行】

支店名：仙台支店 口座番号：普通 0242364  
口座名：オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

### 【ゆうちょ銀行】

- ・他金融機関より  
店名：八一八（読みハチイチハチ）  
口座番号：普通 4130375  
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より  
記号：18110 番号：41303751  
口座名：オアシスライフ・ケア

## 関連情報

### スタッフ

代表：松田牧人（オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師）  
スタッフ：菊地祥彦  
スタッフ：國分圭介  
スタッフ：郡山英明（CRASH Japan 仙台ベースに外向）  
スタッフ：松田献（CRASH Japan 仙台ベースに外向）  
スタッフ：三浦良太（CRASH Japan 仙台ベースに外向）  
会 計：渡辺綾子

### 連絡先

事務所：〒981-0104 宮城県宮城郡利府町中央2-5-1  
(利府キリスト教会内)  
TEL&FAX：022-356-2494 (利府キリスト教会)  
E-mail：info@oasislifecare.org

### Webサイト

Webページ：<http://oasislifecare.org>  
Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>  
Twitter：<http://twitter.com/#!/OasisLifeCARE>

### 賛同者

尾山清仁・キャシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）  
加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）  
葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）  
Kaz Kato（ミュージシャン）  
郡山榮次郎（心療内科医）  
篠田真宏（ゴールドンルールリミテッド・代表）  
ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）  
中村佐知（翻訳者/心理学者〈Ph.D.〉/JCFN理事）  
日野 哲（東北学院大学・総務部長）  
藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授/臨床心理士）  
藤原淳賀（聖学院大学総合研究所・教授/恵約宣教教会・牧師）  
松田和憲（関東学院大学工学部・教授/関東学院教会・牧師）  
渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授/  
中国 <瀋陽> 東北大学・客員教授）

### 協力団体

一般社団法人 海友支援隊 <http://www.kinka-hoya.com>  
一般社団法人 CRASH Japan <http://www.crashjapan.com>  
宗教法人 日本バプテスト同盟 <http://www.jbu.or.jp>  
聖書キリスト教会東京教会 <http://seishokirisuto.com>  
Bridges For Peace JAPAN <http://www.bfpj.org>

※50音順/敬称略/2011年10月25日現在